



3月 園だより



変わる自分に向かって

園長 立石 晃子

「職員室に飾ってください。」とグリーンクラブの方が園庭の花壇の手入れの傍ら、咲いていたスイセンを持ってきてくださいました。スイセンの甘く爽やかな香りに一足早く春を感じさせていただいています。

3学期は園生活のまとめの時期として、各学年発表の場がありました。年少組の劇遊びでは、学級で遊んでいた鬼遊びをもとに取り組みました。年中・年長児に見せる日、それぞれに劇を楽しんでいたところから、急に観客を目の前にして演じることに不安や緊張した表情になりました。しかしそこで子供たちは意を決し、一人一人が「ちゃんとやろう!」という表情や態度に変わり、劇をやり遂げました。「劇を楽しむ」ということの楽しみ方が変わる経験をし、劇遊び後も遊び続けている年少組です。年中組の劇遊びでは、当初演じることの恥ずかしさや緊張から動きが小さくまとまっていました。繰り返す中で思い切ってやろうという決心、自分が頑張らないと、という責任感が見られるようになりました。また、グループごとに友達と息を合わせるといった経験をしました。友達と取り組んだことで、自分一人ですること以上の達成感を味わうことができました。

そして年長組の保育参観では、自分ができるようになった得意技とともに、一年の思い出の発表をしました。年長児が年少・年中児と違うのは、学校生活という未知の世界を情報収集しながら予測し、「こうあるべき」という自分の姿をもっていることです。一人ひとりが自分の役割を担い、感じたことを他者に分かるように発表する姿に成長を感じました。

園児だけではなく、園児とともに毎朝登園していた園児の弟妹の子供たちも、「もうすぐ幼稚園に行くんだ」という気持ちからでしょうか、意識して私の顔を見ながら挨拶をするようになってきました。「立場が人を変える」という言葉がありますが、これは幼児期に入る前から見られるのだなと感心しています。

もうすぐ新しいステージでの生活が始まります。そこで変わる自分、求められている自分、理想の自分に向かって努力しようとする気持ちを原動力に、希望や期待をもって進んでほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、一年間、本園の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。年度当初に掲げた「繋がり 紡ぎ合う 南千住第二幼稚園」を、園児、保護者、教職員とともに進めることができました。ありがとうございました。また、今年度は災害や新型コロナウイルス等、未曾有の出来事に見舞われた年でもありました。一日も早く皆様に平穏な日々が訪れることを願っております。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

みんなで遊ぶと楽しいね たんぽぽ組になるのが楽しみだな！

月日が経つのは早いもので、あっという間に年度末を迎えました。劇遊びの会を終えて、学級みんなでやる活動により楽しさや充実感を感じており、「またみんなでむっくりクマさんやりたい。」や「みんなで楽器遊びやりたい。」と言っています。入園当初は、自分のマークを見付けてカバンを掛けることすらままならなかった子供たち。先日の新入園児の体験入園では、自分よりも小さい友達に優しく声を掛けたり、使いたかった遊具を譲ってあげたりと、頼もしい姿が見られるようになりました。自分のことが自分でできるようになった嬉しさや友達と一緒に遊ぶ楽しさ、幼稚園を大好きに思う気持ちが、進級への期待につながっています。

3月は、これまでお世話になった憧れの年長組さんへの感謝やお祝いの気持ちをもって過ごしたり、この一年でできるようになったことや大きくなったこと、楽しかったことなどを振り返ったりして、年中組に進級することを楽しみにできるよう援助していきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

ぼくたち、わたしたちにまかせてね！年長さんみたいに頑張るよ！

劇遊びの会では友達と気持ちを合わせ、声を揃えてセリフを言ったり、自分なりに考えた動きで動物になってみたりと、表現することを楽しみました。学級のみんなで一つのものを作り上げる経験をして、遊びや生活の中で友達とのつながりを感じたり、自分らしさを発揮したりする場面が増えてきているように感じます。これからも、一人ひとりの育ち、そして学級としての育ちにより丁寧に寄り添っていきます。また、2月後半には年長組から当番活動の引継ぎを行いました。手順を教わるだけでなく、「お兄さん、お姉さんになってきたから色々な当番を頑張れるんだ」という気持ちもしっかり引き継ぎました。まだまだ慣れないこともあります。友達と力を合わせながら意欲的に取り組んでいます。いよいよ3月。今までの経験が自信につながるよう援助をしていきます。年長組への憧れと進級の期待を高め、そして残り少ない年長組との時間も楽しみながら、たんぽぽ組の仲間たちとの生活を大切に過ごしていきます。

< 5 歳ばら組 >

もうすぐ1年生！みんなで残りの園生活を楽しもうね

残りの園生活のカウントダウンを始めてから、毎日朝の集まりの度に「あと 日か〜。」と思わず声がこぼれる子供たちです。2月は、学級のみinnでお店屋さんを開店してたくさんのお客さんを招いたり、コマやけん玉などこれまでの練習してきたことの成果や、一年の思い出を保護者の皆様に向けて発表したりし、自分の成長や自信、友達と一緒にやり遂げる達成感を味わうことができました。子供たち一人ひとりが学級や友達と過ごす楽しさや喜びを感じながら、一つ一つの遊びや活動に取り組む姿に、学級や友達とのつながりがさらに深まっていることを改めて感じる毎日です。

いよいよ修了まで残りわずかとなりました。みんなでたくさん遊んだり、園生活を振り返りながら自分の成長を感じられるようにしたりして、一日一日を大切に過ごし、子供たちが自信と小学校生活への期待をもって修了を迎えられるよう援助していきます。